

サハリン・樺太史研究会

シンポジウム

「1920年代の北サハリンー出兵・占領・油田開発ー」

日時：8月26日（金）10:00~17:15

場所：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）2階 W201室

報告

10:00~11:15

伊丹明彦氏

（京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程単位取得退学）

「1920年初夏における北サハリン石油利権交渉 アメリカの非公式の政策の展開」

11:15~12:30

藤本健太郎氏（京都大学大学院文学研究科博士課程）

「1920年代後半のソ連北サハリン政策 コンセッションとトラスト・サハリンネフチの創設」

13:30~14:45

井竿富雄氏（山口県立大学）

「尼港事件 どのような事件だったのか」

14:45~16:00

倉田有佳氏（ロシア極東連邦総合大学函館校）

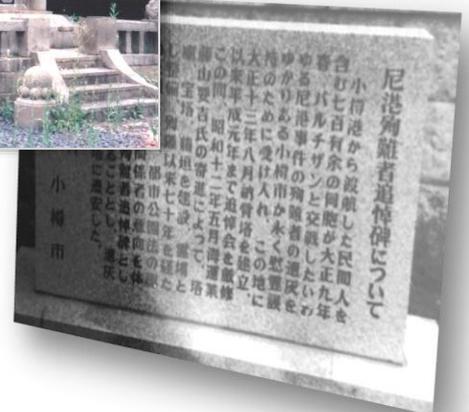
「日本軍の保障占領末期に北樺太から 日本に避難したロシア人 1924年ー1925年」

16:15~17:15 総合討論

17:15~17:45 サハリン・樺太史研究会総会



尼港殉難者追悼碑（小樽市）



主催 サハリン・樺太史研究会

共催 京都大学地域研究統合情報センター科学研究費補助金挑戦的萌芽研究「境界地域史への地域情報学活用 サハリン島ミクロ歴史情報データベースの構築と応用」（研究代表 中山大将）

科学研究費補助金基盤(B)「サハリン(樺太)島における戦争と境界変動の現代史」（研究代表 原暉之）

お問い合わせ先 サハリン・樺太史研究会事務担当鈴木仁 (su-jin@eis.hokudai.ac.jp)